

タデ原湿原

タデ原湿原は、くじゅう連山の北西に位置し、標高は約 1000 メートルです。くじゅうの独特な地理的位置、地質構造、年間降水量の多さ（2,500mm 以上）のため、ミネラル豊富な水が地下に溜まります。多孔質の火山性土壌と広大な草原地帯が、このような自然地下水タンクに雨水が溜まるのを促進します。低地では、水が湧き上がって、泉、池、湿原のような、いろいろな淡水環境を作ります。

タデ原湿原は、くじゅうで最も代表的な淡水環境の一つです。タデ原は、周囲の山々から湧き出た泉の淡水で作られ、植物や動物の生態が豊富な低地です。淡水の湿地に生える植物やアシが、希少な水生昆虫を支えています。このような昆虫が、一年を通して豊かな生態系の基礎を作っています。

この地域の独特な自然環境を保護、保存するため、2005 年、タデ原湿原と坊ガツル湿原は、ラムサール条約の「国際的に重要な湿原」に指定されました。